

祝



市政施行35周年

市道君津駅前線開通記念

—活力とふれあいを感じる周西・貞元創り—



主催 市道君津駅前線開通式実行委員会  
後援 君津市  
君津市商工会議所  
君津市観光協会  
君津駅周辺商店街活性化対策協議会  
君津まちづくりの会

## 記念冊子発刊にあたり

永年の懸案でありました市道君津駅前線が、市政施行35周年にあたり今年9月25日に開通しました。

開通を記念して「活力とふれあいを感じる周西・貞元創り」をテーマにビデオ収録し祝賀会で紹介しましたところ、君津市長を初め関係各位さま、市道君津駅前線開通式実行委員会の皆様から、過去に例がない「大変貴重な資料」という評価を頂きました。

ビデオの内容は3部構成になっています。

- 1部：周西・貞元地域の歴史、文化を振り返る
- 2部：市道君津駅前線建設に至るまでの経緯
- 3部：建設から完成までの歩み

また、ビデオとは別に「記念冊子も作成しては」という要望が多く寄せられました。ビデオを鑑賞できない地域の人たちにも広く紹介して情報を共有していただくことは、重要かつ大切なことです。

ご提案を尊重し、公共施設（公民館・コミセン・学校など）や個人向として記念冊子を発刊することにしました。

記念冊子は、記録ビデオのシナリオ画像とナレーションを併記した内容で、建設前の風景から道路や橋が完成するまでの様子など、わかりやすい構成になっています。

この記録が、周西・貞元地域だけに留まらず、更なる発展を遂げつつある君津市域の近代化へ向けた情報発信の先鞭となれば幸いです。

# 市道君津駅前線記録ビデオ シナリオ

平成18年10月20日

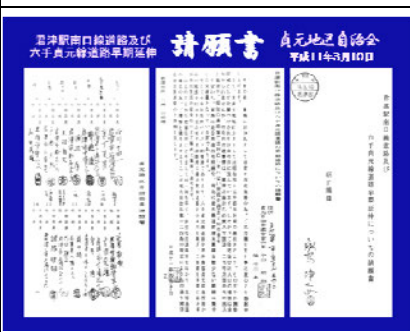
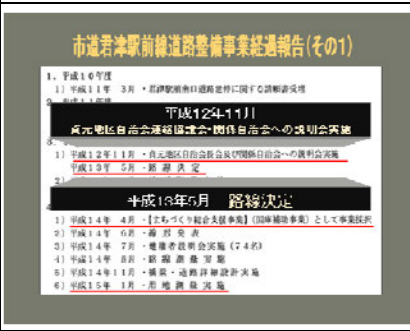

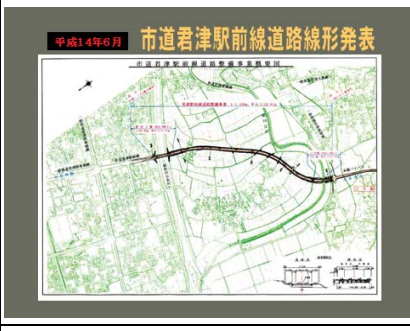

番号	コマ	ナレーション
1		<p><b>タイトル 市道君津駅前線開通記念</b></p> <p>長年の懸案でありました「市道君津駅前線」が、平成18年9月25日月曜日午後1時に開通しました。その記念として、一活力とふれあいを感じる周西・貞元創りをテーマに、この地域の歴史を振り返りながら道路建設の歩み、開通式、イベントを紹介します。</p> <p>制作 市道君津駅前線開通式実行委員会 担当 元岡陸視 ナレーター 齊藤貞夫 林俊弥です。</p>
2		<p><b>歴史を振り返って</b></p> <p>約300年前までは、中野と中富は地続きでした。小糸川は、釜神から現在の江川方面を蛇行していたため、たびたび氾濫し、とくに、元禄3年(1690)9月7日の大洪水では、中富村(当時約50軒)の農作物の収穫は皆無となり、近隣からの差し入れにより命が救われたそうです。</p>
3		<p><b>大草平内の川回し構想</b></p> <p>この惨状を見た、時の小笠原氏の地頭・大草平内は、釜神から川を直線にすることを役所にお願ひし続けましたが、志半ばにしてなくなりました。元禄15年中富と下湯江の連名で改めて願ひ出たところ、亡き大草平内の企画をもって早速許可が下り、村人総出による普請の結果、宝永元年(1704)に距離468mの新川が完成し、現在の川の姿になりました。大草平内没後8年目のことでした。</p>
4		<p><b>航空写真で見る水害の痕跡</b></p> <p>航空写真で見ますと、その様子がよく解ります。洪水で暴れた川の痕跡らしきものがあります。</p>
5		<p><b>小糸川流路改修三百年記念碑</b></p> <p>中富では大草平内の徳を慕い「日の宮様」と崇め、「お日待ち」と称して毎年供養を続け、没後300年にあたる平成15年には、このような遺徳を偲ぶ、記念碑を建立しています。</p>

番号	コ マ	ナレーション
6		<p><b>継承遺産 房総往還</b></p> <p>それでは、この地域に残る文化遺産や祭りなどについて少し触れてみましょう。</p> <p>釜神橋の中野側には「房総往還」の立札があります。房総往還とは江戸から安房・北条にいたる古道の総称で、大正11年に釜神橋が架けられるまでは、渡し舟か、川を歩いて渡ったと書かれています。</p>
7		<p><b>幕末の中野村絵図</b></p> <p>安永4年(1775)作成、天保7年の幕末の中野村の写絵で、土地区画整理前までは当時の地形で推移してきたと思われます。</p> <p>家は数えたところ84軒ありました。右側南北に伸びる赤色の道路が房総往還です。</p>
8		<p><b>中野揚水水車</b></p> <p>中野・中富には、水田用の揚水水車が設置され稼動していました。</p> <p>これは、明治27年頃から大正にかけて稼動していた中野の同軸式揚水水車です。</p>
9		<p><b>中富揚水水車</b></p> <p>明治28年千葉県知事に設置願いした中富の揚水水車です。</p> <p>中野は駅前大橋の上流側、中富は後生橋の下流側に設置されていました。</p>
10		<p><b>下湯江</b></p> <p>右上は下湯江の法蔵寺にある後藤橘忠明作の向拝彫刻です。</p> <p>法蔵寺には、保存樹木第1号に指定されたイチョウト、後藤喜三郎橘義光作の向拝彫刻があります。</p>

番号	コ マ	ナレーション
11		<p><b>真元（釜神）</b></p> <p>房総往還の宿場町として江戸時代から栄えた釜神の明治・大正時代の宿場跡図で、旅籠やいろいろな商店、職人の家がありました。</p> <p>また、天保3年建立した雪中庵蓼太の句碑などもあります。</p>
12		<p><b>後生橋の移り変わり</b></p> <p>後生橋の移り変わりです。2枚は中富の石川昭氏の風景画で、何れも木橋です。</p> <p>古いほうの絵には、川で馬を洗う様子が描かれています。</p> <p>世相を表す貴重な1枚ですね。</p>
13		<p><b>祭り</b></p> <p>周西・真元地域は今でもそうですが、神輿・お囃子などの祭りでにぎわいます。</p> <p>中野は、御霊神社、中富は、石上神社、下湯江は琴平神社、真元は、八幡神社に神輿がありどの地区も10月に神輿の渡御が実施されています。</p>
14		<p><b>あじさい祭り</b></p> <p>近年では、平成16年から「あじさい祭り」が始まりました。</p>
15		<p><b>さくら祭り</b></p> <p>平成17年からは「さくら祭り」がスタートしています。行政と地元の人たちの熱意とご尽力で「楽しい街づくり」「住みやすい地域づくり」が着々と進められています。</p>

番号	コ マ	ナレーション
16		<p><b>新道実現に向けて</b></p> <p>着工に至るまでには、幾多の変遷がありました。その一部を紹介します。</p>
17		<p><b>要望書 中野土地</b></p> <p>中野土地区画整理組合設立にあたり、昭和45年5月1日付けで君津駅の移転を前提とした都市計画道路変更の要望書が提出されました。</p>
18		<p><b>中野住宅地図</b></p> <p>昭和48年の作成資料ですが、旧君津駅や道路形態が思い出されます。また、当時は約200軒でした。</p>
19		<p><b>陳情書 (その1)</b></p> <p>これは、昭和46年10月10日、第1回目の「市道君津駅前線建設」に関する陳情書です。新房総往還の早期建設に寄せる期待と切なる願いが書き込まれています。</p>
20		<p><b>陳情書 (その2)</b></p> <p>中富自治会と釜神総代の連名で君津市長あてに提出されました。しかし、残念ながら、当時はまだ機が熟せず、採択されるに至りませんでした。</p>

番号	コ マ	ナレーション
21		<p><b>中野土地区画整理組合設立認可</b></p> <p>中野土地区画整理組合は、昭和47年4月6日申請同年7月19日認可、設立されました。</p>
22		<p><b>区画整理進む</b></p> <p>昭和57年の航空写真を見ますと、土地区画整理事業も着々と進み、市街地化の様子がよく解ります。君津駅も移転し橋上駅となり、市道君津駅前線や架替中の新旧後生橋も見えます。この頃は、君津市が都市化・市街化に向け動き出した、まさに激動の時代でした。</p>
23		<p><b>中野からの請願書</b></p> <p>区画整理の進展に伴い、中野土地区画整理組合から昭和62年2月27日、市道君津駅前線の延伸の請願書が提出されました。</p>
24		<p><b>(仮称) 君津駅前線道路改良工事</b></p> <p>中野からの請願書が採択されたことにより、平成2年5月1日、(仮称) 君津駅前線道路改良工事に伴う測量業務が開始されました。</p>
25		<p><b>貞元土地区画整理事業準備組合</b></p> <p>貞元地区では、測量業務が開始されたことに対して、道路工事だけでなく土地区画整理をしようと、平成3年7月業務代行方式による貞元土地区画整理事業準備組合が設立され、道路の延伸は区画整理事業の中で実施することになりました。しかしながら、バブル崩壊により事業が成り立たないこととなり、平成9年8月31日で準備組合は解散をしました。</p>

番号	コ マ	ナレーション
26		<p>請願書</p> <p>平成11年3月11日、貞元地区自治会連合会から、君津駅南口道路及び六手・貞元線道路早期延伸についての請願書が提出され同年6月採択されました。</p>
27		<p>市道君津駅前線道路整備事業経過（その1）</p> <p>平成12年11月貞元地区自治会連絡協議会及び関係自治会への説明会実施。 平成13年5月路線決定。</p>
28		<p>まちづくり総合支援事業</p> <p>平成14年4月〔まちづくり総合支援事業〕（国庫補助）として事業採択。 地域が主役のまちづくり、地域の創意工夫を活かしたまちづくりがスタートしました。</p>
29		<p>道路線形発表</p> <p>平成14年6月 道路線形発表</p>
30		<p>用地測量開始</p> <p>平成15年1月 用地測量が実施されました。</p>



番号	コ マ	ナレーション
31		<p>市道君津駅前線道路整備事業経過（その2）</p> <p>平成15年6月地権者約80名に対し用地説明会実施。 同月、市道君津駅前線建設協議会が12名で発足しました。</p>
32		<p>工事着手前の風景（写真方向図）</p> <p>それでは、工事着手前の風景を工事起点の中野側から説明します。</p>
33		<p>①小糸川上流から後生橋風景</p> <p>二級河川小糸川の上流から駅前大橋の建設位置の状況です。 中央に架かっている橋が後生橋です。</p>
34		<p>②中野から中富風景（駅前大橋架設箇所）</p> <p>駅前大橋が架かります箇所で、中野から中富方面の着工前状況です。</p>
35		<p>③後生橋から釜神橋風景</p> <p>後生橋から釜神橋を望んでいる二級河川小糸川の風景です。 左側、中野に位置する親水公園と鉄塔敷きの間に駅前大橋が建設されます。</p>

番号	コ マ	ナレーション
36		<p>④中富から中野風景（駅前大橋架設箇所）</p> <p>駅前大橋が架かります箇所で、中富から中野方面の風景です。</p>
37		<p>⑤カワラ山風景 1（釜神から中富方面）</p> <p>明治時代に治水工事として整備された中富と釜神に位置する堤防で、俗に言う「カワラ山」の風景です。</p>
38		<p>⑥カワラ山風景 2（釜神から中富方面）</p> <p>釜神方面から「カワラ山」の状況です。 高さ10mを超える「まてばしい」、俗称「トウジの木」が数百本ありました。</p>
39		<p>⑦中富集落地風景</p> <p>派川江川から中富の集落地を望んでいる風景です。</p>
40		<p>⑧灌漑用水門風景</p> <p>派川江川に位置する[かんがい用水門]付近の風景です。</p>

番号	コ マ	ナレーション
41		<p>⑨終点部接合風景（下湯江から中富方面）</p> <p>県道君津青堀線から耕地整理によって整備された下湯江方面の風景です。 終点の結合地点となる箇所です。</p>
42		<p>道路築造 建設の歩み</p> <p>これからは道路建設の歩みについて説明します。 全長1.1kmのうち、約1kmが道路改築工事となります。</p>
43		<p>安全祈願祭</p> <p>事故や災害もなく、今後の工事が推移することを祈念（キネン）して、君津駅前線建設協議会の方々立会いの下、工事安全祈願祭が、平成16年1月12日の成人の日に、下湯江で行われました。</p>
44		<p>カワラ山伐採</p> <p>取掛かり工事として、道路建設に支障となるカワラ山の伐木・除根工事に着手しました。 伐木した”まてばしい”の幹は、薪（マキ）や炭（スミ）の材料として、根や枝葉は[たい肥]として活用されました。</p>
45		<p>伐木完了</p> <p>カワラ山の伐木が完了した状況です。 除根されたカワラ山は工事用道路として使用しました。 平成15年度工事として実施しました。</p>

番号	コ マ	ナレーション
46		<p><b>進入路築造 下湯江</b></p> <p>平成16年度に入って、下湯江から中富方面へ盛土工事をしながら、工事用進入路を築造しました。</p>
47		<p><b>管渠布設その1</b></p> <p>進入路工事完了後、道路の路面と道路周辺の雨水を、小糸川まで導く幹線排水路整備工事を実施しました。</p>
48		<p><b>管渠布設その2</b></p> <p>これは、排水管理設完了後のカワラ山の状況です。直径60cmから1mのヒューム管を、深さ2mから4mの地中部に、全長553m整備しました。左側に鉄板を敷いて工事用通路を作り、中央部に排水管を埋設しました。この状況において約2m下に排水管が埋設されています。</p>
49		<p><b>盛土工事</b></p> <p>平成17年度に入って、全線の盛土工事に着手しました。盛土用土砂は、国土交通省で整備している首都圏中央連絡自動車道や、君津地域整備センターの協力を得て、工事で発生した土砂を利用し、コスト縮減を図りました。10t積みダンプトラックで運搬していただきました。</p>
50		<p><b>盛土工事転圧状況</b></p> <p>これは、中富地先における盛土材の転圧状況です。ブルドーザーで厚さ30cmづつまき出し、敷均しし、タイヤローラーで締め固めました。</p>

番号	コマ	ナレーション
51		<p>路床改良状況（スタビライザー）</p> <p>路盤材を敷均すにあたって、路床盛土材の強さ、安定性、耐久性を向上させるため、セメントを添加し改良しました。</p> <p>これは、スタビライザーと呼ばれる機械で、土とセメントを混合している状況です。白く見えるのがセメントです。</p>
52		<p>側溝・路盤等整備</p> <p>路床改良後、道路側溝、歩車道境界ブロック、車道および歩道の路盤材を入れて道路改築工事の完了となります。</p> <p>残るは舗装工事です。</p>
53		<p>道路改築一連作業風景</p> <p>これは、道路改築工事の作業を同じ角度から撮影した一連状況です。</p> <p>駅前大橋から中富側に向けて撮影しました。</p>
54		<p>道路改築工事完了</p> <p>中富地区の中間点における状況写真です。</p> <p>全線の道路改築工事は平成18年8月で完了しました。</p>
55		<p>舗装工事</p> <p>着手平成18年8月より車道・歩道部の舗装工事に着手しました。</p> <p>セミフラット形式の歩道を採用し、段差のない全線バリアフリー化を図るとともに、車道・歩道の舗装においては、水溜りの解消、水はね防止、走行騒音の低減化を図り、利用者の安全性、快適性の向上に努めました。</p>

番号	コ マ	ナレーション
56		<p><b>全線完成</b></p> <p>平成18年9月20日に道路利用者が安全に利用してもらうため、交通の流れを整える区画線、白線の表示を行い、25日の開通式を向かえることができました。</p> <p>建設協議会、地元そして地権者の方々のご協力の下、全工程で2年と9ヶ月と短い期間で、工事を完了し全線開通することができました。</p>
57		<p><b>江川橋の軌跡</b></p> <p>次に、橋梁工事の足跡について説明します。派川江川に架かる江川橋の工事記録です。</p>
58		<p><b>橋梁一般図概要説明</b></p> <p>これは江川橋の一般図です。橋梁の概要について説明します。</p> <p>橋の長さ：19m、上部工形式：PCプレテン中空床版桁、下部工形式：逆T式橋台、基礎形式：PHC杭、直径60cmのプレボーリング工法です。</p>
59		<p><b>仮橋築造</b></p> <p>橋台築造に先立ち、下湯江から中富側に渡るための仮橋（カリバシ）を築造しました。</p>
60		<p><b>橋台仮締切状況</b></p> <p>仮橋（カリバシ）状況と橋台部の土留め矢板、シートパイルを打ち込んでいる状況です。下湯江から中富方面の状況です。</p>

番号	コ マ	ナレーション
61		<p><b>杭打設（PHC杭打設）</b></p> <p>直径60cmのPHC杭を、三点式杭打機で打ち込んでいる状況です。 杭がまっすぐに打ち込むよう、手前ではトランシットを見て、その状況を調べています。</p>
62		<p><b>杭打設完了</b></p> <p>基礎杭打設完了の状況です。 1本あたり17m、2つの橋台で32本打ち込みました。</p>
63		<p><b>杭頭処理</b></p> <p>これは杭頭処理といって、杭の頭を1mはつり、杭と橋台の、フーチングと呼ばれる足の部分を結合させるために、行っている作業状況です。</p>
64		<p><b>鉄筋組立</b></p> <p>橋台を築造するための作業工程に移ります。 鉄筋を組立っている状況です。</p>
65		<p><b>型枠組立</b></p> <p>型枠を組立っている状況です。 無数の足場パイプが見えますが、コンクリートを打ち込んだ時、型枠がずれない様に支えるもので、型枠支保工と呼ばれています。</p>

番号	コ マ	ナレーション
66		<p><b>コンクリート打設</b></p> <p>コンクリートポンプ車を使用しコンクリートを打設します。 鉄筋組立、型枠組立、コンクリート打設の一連作業を、1橋台あたり6回繰返し行いました。</p>
67		<p><b>下部工完成</b></p> <p>下部工の橋台2基が完成しました。 平成16年、1月から5月まで、約5ヶ月間で橋台を築造しました。</p>
68		<p><b>上部工着手</b></p> <p>下部工が完了し、上部工の架設工事に移りました。 工場において製作されたPC桁を、30tポールトレーラーで運搬し、160t吊トラッククレーンで架設します。 左に見えるのが、ポールトレーラーの運搬車両です。</p>
69		<p><b>上部工架設（クレーン据付）</b></p> <p>架設工事は、下湯江側の橋台背面に、160t吊トラッククレーンを据付けて行いました。</p>
70		<p><b>桁架設</b></p> <p>架設順序は、派川江川の下流から上流側に向けて、所定の位置と高さに桁を据付ました。 中富から下湯江方面を見た架設状況です。</p>



番号	コマ	ナレーション
71	 <p style="text-align: center;">架設完了</p>	<p><b>架設完了</b></p> <p>幅70cm、高さ65cm、長さ約19mのPC桁を、22本据付けました。 1本あたり桁重量約14tあり、合計で306tの架設重量となりました。</p>
72	 <p style="text-align: center;">横組工</p>	<p><b>横組工</b></p> <p>桁架設完了後、22本の桁を一体化させるため、PCケーブルを桁の中に挿入し、桁の隙間にはコンクリートを充填しました。 中央の桁の隙間に見える銀色の筒は、PCケーブルを保護しているスパイラルシースです。</p>
73	 <p style="text-align: center;">緊張</p>	<p><b>緊張</b></p> <p>コンクリートが固まった後、桁の横方向に入れたPCケーブルを、緊張ジャッキで引張り、桁同士を一体化させます。 右下の写真は、PCケーブルを引張った後の状況です。</p>
74	 <p style="text-align: center;"><b>江川橋</b> 平成16年7月竣工</p> <p style="text-align: center;">しがわし 淡川江川</p>	<p><b>江川橋完成</b></p> <p>高欄を設置し、江川橋が、平成16年7月に完成しました。 下段は、橋名板と橋歴板と言われるもので、橋名板は高欄に、橋歴板は桁に、それぞれ取付けられています。</p>
75	 <p style="text-align: center;"><b>橋梁工事の軌跡 (2)</b> <b>建設の歩み</b> <b>駅前大橋編</b></p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">市首君津駅前線</p>	<p><b>駅前大橋の軌跡</b></p> <p>次は、二級河川小糸川に架かる、駅前大橋の工事記録です。</p>

番号	コ マ	ナレーション
76	 <p style="text-align: center;"><b>駅前大橋橋梁一般図</b></p>	<p><b>橋梁一般図概要説明</b></p> <p>これは、駅前大橋の一般図です。橋梁の概要について説明します。  橋の長さ：68.85m、上部工形式：3径間連続非合成鉸桁橋  下部工形式：逆T式橋台と壁式小判型橋脚  基礎形式：場所打杭、直径1mのリバース工法です。</p>
77	 <p style="text-align: center;"><b>橋</b></p> <p style="text-align: center;">平成16年10月27日 仮橋架設(中野側)</p>	<p><b>仮橋架設（中野方面）</b></p> <p>下部工架設に先立ち、小糸川小段へ乗入れるための仮設道路と、小糸川の中に架設する、橋脚用仮橋の施工に取掛かりました。  中富から中野方面の作業風景です。  平成16年10月に着工しました。</p>
78	 <p style="text-align: center;">平成16年10月27日 仮設道路(中富側)</p>	<p><b>仮橋架設（中富方面）</b></p> <p>中野から中富方面の作業風景です。  右上は、仮設道路で、クレーン前面には、仮橋を架設しています。</p>
79	 <p style="text-align: center;">平成16年11月10日 後生橋から中野側</p>	<p><b>橋脚架設（仮締切状況）</b></p> <p>後生橋からの下部工架設風景です。  小糸川の中に、橋脚架設のため、水が入ってこないよう、シートパイルで仮締切を行いました。</p>
80	 <p style="text-align: center;">基礎杭架設</p>	<p><b>基礎杭架設（掘削状況、スタンドパイプ建込）</b></p> <p>基礎杭の架設状況です。  直径1mの杭を作るため、それより大きい直径1.1mの鋼管と呼ばれるスタンドパイプを、地中に約10m建て込みました。</p>

番号	コマ	ナレーション
81		<p><b>基礎杭築造（掘削状況、ドリルビット掘削）</b></p> <p>掘削先端にドリルビットを取付け、それを回転させながら地盤を掘削、土砂は水と一緒に排出し、所定の深さまで掘削します。</p> <p>黒く見えるホースは、水を循環させるもので、マットケーキと呼ばれる壁を作りながら、循環している水と、地下水の水頭差で、土砂の崩落を防いでいます。</p>
82		<p><b>基礎杭築造（鉄筋籠加工・組立）</b></p> <p>杭を作るための鉄筋を現場で加工・組立している状況です。</p> <p>鉄筋籠と呼ばれ、杭1本あたり鉄筋を、約3t使用します。</p>
83		<p><b>基礎杭築造（鉄筋籠建込）</b></p> <p>出来上がった鉄筋籠を、掘削が完了した地中に建て込みます。</p> <p>1本の杭を作るのに、3回に分けて鉄筋籠を建て込みました。</p>
84		<p><b>基礎杭築造（コンクリート打設）</b></p> <p>コンクリートを流し込んでいる状況です。</p> <p>所定の高さまで、コンクリートを打ち込みます。</p> <p>1本の杭の長さが、約38mですので、1本あたり約30立方メートルのコンクリートを打ち込みました。</p>
85		<p><b>基礎杭築造（現場打ち杭完成）</b></p> <p>鋼管を引抜き、コンクリートが固まれば、杭が完成です。</p> <p>これは、鋼管を引抜いたばかりの状態で、鉄筋と打ち込んだばかりのコンクリートが見えます。全部で52本、杭を築造しました。</p> <p>現場で作る杭なので、[場所打ち杭]と呼ばれます。</p>

番号	コ マ	ナレーション
86		<p><b>杭頭処理</b></p> <p>作り上げた杭の頭をハツリ、橋台・橋脚を鉄筋で結合します。  江川橋と同様、鉄筋組立、型枠組立、コンクリート打設を繰り返すことで、下部工を築造します。  1つの下部工を作り上げるのに、鉄筋約25t、コンクリート約300立方メートルを必要とします。</p>
87		<p><b>梅咲く</b></p> <p>平成17年2月6日、梅の花が咲く季節に、下部工事が順調に推移しました。</p>
88		<p><b>下部工の雄姿現る</b></p> <p>下部工の雄姿が現れました。</p>
89		<p><b>下部工周りの埋戻し状況</b></p> <p>下部工が出来上がり、橋台・橋脚周りを土砂で埋め戻しているところです。</p>
90		<p><b>桜咲く</b></p> <p>桜咲く頃、下部工がやっと完成しました。</p>

番号	コ マ	ナレーション
91		<p><b>下部工完成（中富方面）</b></p> <p>中富側の完成した下部工状況です。</p>
92		<p><b>下部工完成（中野方面）</b></p> <p>中野側の完成した下部工状況です。 橋脚に描かれている、赤・青・黄色のペイントは、小糸川が増水した時に、水位状況がひと目で解るよう、上流・下流にそれぞれ標示しました。</p>
93		<p><b>上部工仮組立</b></p> <p>平成17年度に入り、駅前大橋の上部工製作に取り掛かりました。 これは、製作工場における、仮組立状況です。</p>
94		<p><b>上部工仮組立（工場製作）</b></p> <p>工場での製作状況です。 溶接のほとんどは、ロボットにて行っています。</p>
95		<p><b>上部工仮組立（検査状況）</b></p> <p>製作で完了した、個々の部材について、検査を行っている状況です。</p>

番号	コマ	ナレーション
96	 <p data-bbox="443 607 528 629">検査後の仮組立</p>	<p data-bbox="719 327 943 353"><b>上部工仮組立状況</b></p> <p data-bbox="691 387 1369 510">各部材の品質確認検査合格後、各部材の取り合い状況、組立後の仕上がり、形状および寸法などを検査し、現地での不具合が生じないように確認するため、プラモデルのように実際に組立ます。</p>
97		<p data-bbox="719 651 943 678"><b>上部工仮組立完成</b></p> <p data-bbox="691 712 1369 835">仮組立完了後、形状、寸法、取り合い状況等を確認するための検査を実施しているところです。検査完了後は、現地に運搬するため、解体されます。</p>
98	<p data-bbox="328 1010 628 1093">平成18年1月 <b>駅前大橋鋼鉄製桁架設に着手</b> 平成17年10月 橋梁設計・駅前大橋設計決定</p>  <p data-bbox="400 1223 560 1256">上部工架設</p>	<p data-bbox="719 976 911 1003"><b>上部工現場架設</b></p> <p data-bbox="691 1037 1369 1093">平成18年1月中旬から現場での、架設工事に取り掛かりました。</p>
99	 <p data-bbox="432 1581 528 1603">安全ネット取り付け</p>	<p data-bbox="719 1301 911 1328"><b>安全ネット取付</b></p> <p data-bbox="691 1361 1337 1417">架設工事に取り掛かる前に、安全対策として、ワイヤーブリッジを張り、安全ネットを施工しました。</p>
100	 <p data-bbox="448 1906 504 1928">桁据付</p>	<p data-bbox="719 1626 799 1653"><b>沓据付</b></p> <p data-bbox="691 1686 1369 1742">桁が乗る前に、沓（シュウ）と呼ばれる台座を据付ます。</p>

番号	コマ	ナレーション
101	 <p style="text-align: center;"><b>駅前大橋架設計画図(1)</b></p>	<p><b>架設計画図(1)</b></p> <p>この図は、架設計画図です。  中富側からは2径間分、中野側からは1径間分の桁を架設します。  中富側からは、360t吊トラッククレーンを使用し桁を架設します。  中野側からは、50t吊トラッククレーンを使用し桁を架設します。</p>
102	 <p style="text-align: center;"><b>駅前大橋架設計画図(2)</b></p>	<p><b>架設計画図(2)</b></p> <p>架設順序は、中富から中野方面へ、小糸川の上流から下流側に向けて据付ます。</p>
103	 <p style="text-align: center;"><b>360tトラッククレーン</b></p>	<p><b>360tクレーン</b></p> <p>中富側の360t吊トラッククレーンです。  高さ60mはあります。</p>
104	 <p style="text-align: center;"><b>地組(各部材組立)</b></p>	<p><b>地組工</b></p> <p>桁架設に伴い、地組と言って、各部材を組立している状況です。</p>
105	 <p style="text-align: center;"><b>足場パイプ取付</b></p>	<p><b>足場パイプ取付</b></p> <p>地組完了後、吊り上げられた桁の下場に、チェーンと足場パイプを取付けます。  足場パイプは、桁架設完了後、渡り通路のため、足場板を設置するのに使用されます。</p>

番号	コ マ	ナレーション
106		<b>桁架設状況 1</b> 一番最初の桁が吊り上げられた状況です。 2つの桁を連結し、架設にあたりました。
107		<b>桁架設状況 2</b> 平成18年1月20日、第1日目の桁架設工事が完了しました。 中野側からの架設状況です。
108		<b>歴史の始まり</b> 中野と中富を陸でつなげる、歴史の第1歩で、新橋線往還[オウカン]の始まりです。
109		<b>架設風景（中野から中富方面）</b> 平成18年1月24日、中富側の桁架設状況を、中野側から撮影しました。 その前日に、寒波が到来し、雪が舞いました。この地域に雪が積もるのは、異例の事です。 うっすらと雪化粧しているのが解るでしょう。
110		<b>架設状況（橋脚間）</b> 橋脚間の1径間を据付ている状況です。 中富から中野方面を見た作業風景です。




番号	コ マ	ナレーション
111		<p><b>桁連結工（ボルト仮締め付け）</b></p> <p>桁同士の連結作業風景です。 ボルトで連結します。</p>
112		<p><b>中野側地組・架設状況</b></p> <p>中野側の組立状況です。 中野側の橋台と橋脚1径間分を据付ける工事です。</p>
113		<p><b>1本目の桁がつながる</b></p> <p>平成18年1月28日、1本目の桁が、周西と貞元地区を橋でつながりました。</p>
114		<p><b>上部工架設完了</b></p> <p>平成18年2月5日、8本の桁架設が完了しました。 桁架設重量の合計で、182tありました。 桁架設後は、足場組立、添架支持材据付、落橋防止等々の工事を完了し、3月15日に床版工事へと引渡しました。</p>
115		<p><b>床版工事（型枠サポート組立）</b></p> <p>コンクリート床版工事として、桁間、桁上（ウエ）にコンクリートを打設するため、桁間には、型枠を支えるサポート材が取付けられました。</p>

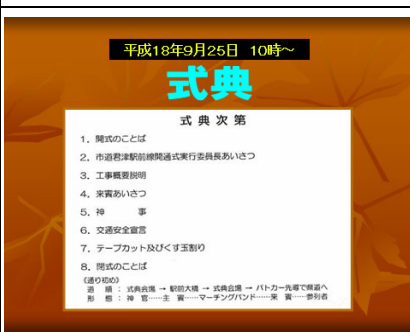


番号	コ マ	ナレーション
116		<p><b>床版工事（型枠組立 1）</b></p> <p>桁間に取付けたサポート材を利用し、型枠を組立している状況です。 型枠面積：1, 280平方メートルあります。</p>
117		<p><b>床版工事（型枠組立 2）</b></p> <p>これは、桁内部から見た型枠状況です。 型枠サポート材と足場パイプで型枠を支え、コンクリートが流れこまない様、細心の注意を払いました。</p>
118		<p><b>床版工事（鉄筋組立）</b></p> <p>桁上（ウエ）、桁間の型枠の上に鉄筋を組立した状況です。 鉄筋重量：約80tあります。</p>
119		<p><b>床版工事（コンクリート打設）</b></p> <p>コンクリートポンプ車を、中野と中富側に各1台ずつ配置し、橋の中央から、コンクリートを厚さ20cmとなるよう、流し込みました。</p>
120		<p><b>床版工完成</b></p> <p>床版の仕上がりを検査している状況です。 床版工事も、平成18年6月下旬に完了し、橋面上の工事へと引渡しました。</p>


番号	コ マ	ナレーション
121		<p><b>橋面工事 1</b></p> <p>橋面上の、デザイン工事で、モニュメントと照明の工事状況です。 平成18年8月下旬の事です。</p>
122		<p><b>橋面工事 2</b></p> <p>照明工事の一環で、飾りレールを設置している状況です。 この飾りレールのパイプの中に、光ファイバーを埋め込み、夜の色彩を演出します。</p>
123		<p><b>鯉の遊泳状況（駅前大橋から眼下の望む）</b></p> <p>駅前大橋のバルコニーから、小糸川をのぞくと、錦鯉らしき鯉も、多数泳いでいる光景を、見ることができます。</p>
124		<p><b>点灯試験</b></p> <p>平成18年9月1日、照明の光度、照度、色合い等を確認するため、点灯試験を実施しました。</p>
125		<p><b>ブルーのカラーランプ</b></p> <p>日没後、夜が深まった頃の照明状況です。 ブルーのカラーランプは、水をイメージするために採用し、君津市では初めて導入しました。 ブルーの照明は、橋面周辺に「いやしの空間」を与えております。 是非一度、足を運んでみて下さい。</p>

番号	コ マ	ナレーション																																				
126	 <p>駅前大橋 平成18年9月竣工</p>	<p><b>駅前大橋完成</b></p> <p>橋面上のすべての工事が、平成18年9月中旬に完成しました。</p> <p>中富在住の、書道家であります、齊藤シュンキン先生の協力を得て、橋名板に揮毫（キゴウ）していただき、パネルとして親柱に取り付けました。</p> <p>江川橋も同様で、齊藤シュンキン先生に書いていただきました。</p> <p>ご利用の際は、一度足を止められて、ご覧になって下さい。</p>																																				
127	 <p>記念事業へ向けて —前夜祭・式典・祝賀会— 平成18年3月 市道君津駅前線開通式実行委員会結成</p>	<p><b>記念事業に向けて</b></p> <p>記念事業に向けて、平成18年3月、市道君津駅前線開通式実行委員会が結成されました。</p>																																				
128	 <p>第4回 記念事業企画会議 日時：平成18年4月2日 13時～15時 場所：市道課第1001号室</p> <p>市道君津駅前線開通式実行委員会 「力とふれあいを感じる岡西・真元創り」</p>	<p><b>企画会議</b></p> <p>実行委員会は、顧問3名、実行委員30名で構成しました。</p>																																				
129	 <p>市道君津駅前線開通式実行委員会名簿</p> <table border="1" data-bbox="300 1361 655 1601"> <thead> <tr> <th>正副 部員</th> <th>庶務会計</th> <th>式典課</th> <th>祝賀会課</th> <th>イベント課</th> <th>事務局</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実行委員長 長瀬昌夫</td> <td>幹事 三浦武夫</td> <td>幹事 尾崎 隆</td> <td>幹事 四村高徳</td> <td>幹事 高橋 尚</td> <td>幹事 岡西創</td> </tr> <tr> <td>副委員長 近野 武</td> <td>幹事 高橋 隆</td> <td>幹事 山中久吾</td> <td>幹事 西森 肇</td> <td>幹事 吉田清隆</td> <td>幹事 石井心輝</td> </tr> <tr> <td>幹事 原 實貴</td> <td>幹事 藤本良次</td> <td>幹事 川谷康幸</td> <td>幹事 齊藤利久</td> <td>幹事 鈴木 庄</td> <td>幹事 村上幸久</td> </tr> <tr> <td>幹事 七倉洋之</td> <td>幹事 北岡隆徳</td> <td>幹事 吉田芳一</td> <td>幹事 海木五郎</td> <td>幹事 知太博幸</td> <td>幹事 高橋智夫</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>幹事 若尾利一</td> <td>幹事 知太博幸</td> <td>幹事 河内洋司</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	正副 部員	庶務会計	式典課	祝賀会課	イベント課	事務局	実行委員長 長瀬昌夫	幹事 三浦武夫	幹事 尾崎 隆	幹事 四村高徳	幹事 高橋 尚	幹事 岡西創	副委員長 近野 武	幹事 高橋 隆	幹事 山中久吾	幹事 西森 肇	幹事 吉田清隆	幹事 石井心輝	幹事 原 實貴	幹事 藤本良次	幹事 川谷康幸	幹事 齊藤利久	幹事 鈴木 庄	幹事 村上幸久	幹事 七倉洋之	幹事 北岡隆徳	幹事 吉田芳一	幹事 海木五郎	幹事 知太博幸	幹事 高橋智夫			幹事 若尾利一	幹事 知太博幸	幹事 河内洋司		<p><b>各部会報告</b></p> <p>実行委員会は、さらに、庶務会計、式典、祝賀会、イベント、事務局の5部門で活動を進めました。</p>
正副 部員	庶務会計	式典課	祝賀会課	イベント課	事務局																																	
実行委員長 長瀬昌夫	幹事 三浦武夫	幹事 尾崎 隆	幹事 四村高徳	幹事 高橋 尚	幹事 岡西創																																	
副委員長 近野 武	幹事 高橋 隆	幹事 山中久吾	幹事 西森 肇	幹事 吉田清隆	幹事 石井心輝																																	
幹事 原 實貴	幹事 藤本良次	幹事 川谷康幸	幹事 齊藤利久	幹事 鈴木 庄	幹事 村上幸久																																	
幹事 七倉洋之	幹事 北岡隆徳	幹事 吉田芳一	幹事 海木五郎	幹事 知太博幸	幹事 高橋智夫																																	
		幹事 若尾利一	幹事 知太博幸	幹事 河内洋司																																		
130	 <p>市道君津駅前線開通式実行委員会</p>																																					

番号	コ マ	ナレーション
131		<p>チラシ</p> <p>前夜祭のチラシです。 数多くのイベントが計画されました。</p>
132		<p>冊子</p> <p>開通式の冊子を作成。 交通安全宣言も盛り込みました。</p>
133		<p>前夜祭次第</p> <p>9月24日 前夜祭のイベント内容、プログラムです。</p>
134		<p>愛称募集</p> <p>駅前大橋の愛称募集の投票結果、「ふれあい橋」に決定しました。</p>
135		<p>イベント</p> <p>イベントとして、①君津市消防本部の吹奏楽 ②JJバンド ③ヨサコイソーラン夢楽人 の皆様です。</p>

番号	コ マ	ナレーション
136		<p><b>イベント</b></p> <p>イベントとして、①君津中のヨサコイソーラン ②和太鼓の八重原太鼓 ③スリーワン の皆様です。</p>
137		<p><b>出店・チンドン屋</b></p> <p>駅周辺商店街活性化協議会の「にぎわい市」まちづくりの会の模擬店、フリーマーケット、そして、屋台には、大勢の人で賑わいました。また、昔懐かしい「チンドン屋」が茂原からお祝いに駆けつけてくれました。</p>
138		<p><b>点灯式</b></p> <p>三浦市長、鵜田君津市議会議長をお招きして、点灯式を実施しました。同時に、消防第6、第7分団による記念放水が行われました。</p>
139		<p><b>花火大会</b></p> <p>花火大会にあたっては、企業、商店、団体、市職員、個人、施工会社、実行委員から多くの協賛をいただき、お蔭様で当初300発の予定が、500発打上げることができました。</p>
140		<p><b>花火大会</b></p> <p>市街地で初めての花火大会であったこともあり、来年も実施してもらいたいという声が多く寄せられました。</p>

番号	コ マ	ナレーション
141	 <p>平成18年9月25日 10時～ <b>式典</b></p> <p>式典次第</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開式のご挨拶</li> <li>2. 市道君津駅前線開通式実行委員長あいさつ</li> <li>3. 工事概要説明</li> <li>4. 来賓あいさつ</li> <li>5. 神 事</li> <li>6. 交通安全宣言</li> <li>7. テープカット及びくす玉割り</li> <li>8. 閉式のご挨拶</li> </ol> <p>〔通り初め〕 場 所： 式典会場 → 駅前大橋 → 式典会場 → ハトカー先導で御道へ 形 式： 神 官…主 賓…マーチングバンド…来 賓…参加者</p>	<p><b>式 典</b></p> <p>翌日の9月25日10時から式典が開催されました。</p>
142	 <p>式典の様子を捉えた写真。左側には神官、来賓、市長、市長夫人の挨拶の様子が写っており、右側にはテープカットとくす玉割りの様子が見えます。</p>	<p><b>式 典</b></p> <p>式典は、千葉県、富津市、君津市、君津市市議会議員、中野・貞元地区で道路建設に関わった役員、地権者、施工会社のご臨席のもとで、神事、式典が執り行われました。</p>
143	 <p>くす玉割り・テープカットの様子。虹のアーチの下でテープカットが行われ、くす玉割りが行われています。</p>	<p><b>くす玉割り、テープカット</b></p> <p>周西小学校児童6名による「くす玉割り」、三浦市長をはじめご来賓によるテープカットです。</p>
144	 <p>通り初めの様子。神官の先導のもと、来賓、マーチングバンド、一般者が参加しています。</p>	<p><b>通り初め</b></p> <p>宮寄神官の先導のもと、来賓、マーチングバンド、一般者による通り初めです。</p>
145	 <p>マーチングバンドの演奏の様子。貞元小学校児童による演奏が行われています。</p>	<p><b>マーチングバンド</b></p> <p>貞元小学校児童102名によるマーチングバンドが、マーチングバンドに彩を添えました。</p>

番号	コ マ	ナレーション
146		<p><b>開 通</b></p> <p>平成18年9月25日午後1時開通しました。</p>
147		<p><b>祝賀会</b></p> <p>祝賀会は、ハミルトンホテル上総で開催しました。</p>
148		<p><b>来 賓</b></p> <p>来賓の方々のご臨席の皆様です。</p>
149		<p><b>アトラクション</b></p> <p>アトラクションには、詩吟、舞踊、大正琴の皆様が花を添えて下さいました。</p>
150		<p><b>お疲れ様でした</b></p> <p>お疲れ様でした。すべての行事が滞りなく、無事終了しました。</p>



番号	コマ	ナレーション
151		<p>新聞記事</p> <p>千葉日報外4紙に新聞報道されました。</p>
152		<p>利用状況</p> <p>10月18日朝 開通後の利用状況を撮影しました。</p>
153		<p>新たな旅立ち</p> <p>まちづくり総合支援事業にむけて、川を直線にかえた先人の知恵、橋でよみがえらせた現代人の知恵、新たな旅立ちです。</p>
154		<p>完</p> <p>ご観覧ありがとうございました。</p>
155		

**市道君津駅前線開通記念冊子**

**—活力とふれあいを感じる周西・貞元創り—**

発行日 平成18年10月20日

編集発行 市道君津駅前線開通式実行委員会